



下釜恵津子 さん

J-SHINE 小学校英語上級指導者  
長崎県諫早市公立小学校のJTE  
民間英語教室の講師

今回は、民間の英語教室及び保育園での英語指導歴10年、そして小学校の先生方とのコミュニケーションを大切に、信頼関係を築きながらJTEの活動も6年続けていらっしゃる下釜さんの実践報告です。

# J-SHINE 通信

2015年1月号

## ■ J-SHINE 資格、上級指導者資格取得のきっかけ

子育てがひと段落して英語の勉強を再び始め、本屋で見た本「子ども英語」で児童英語教師という仕事の存在を知り、アルク Kiddy Cat 英語教室の先生になりました。同時期に、当時息子が通っていた保育園で、英語あそび教室をスタートし、共にもうすぐ10年目を迎えます。現在息子が6年生となった小学校でのボランティアのJTEの活動も6年続けています。

アルク児童英語教師養成コースの受講中、J-SHINEの小学校英語指導資格者募集の広告を見て、同時に勉強することで何か相乗効果を得られるかもしれない、また、将来性を強く感じてJ-SHINE資格を取得しました。上級者資格は小学校でのJTE活動が5年を終えた記念にと思い取得しました。

小学校に関わるようになったきっかけは、娘が小学校5年生の時、家庭訪問に来られた担任の先生と日本の英語教育について熱く語り合い、「もしお手伝いできることがありましたらさせてください」と話しておりましたら、その後、学校側から「ぜひ、講師として手伝ってください」とお声をかけていただきました。翌年から5.6年生が「英語ノート」を使用して活動が始まる年(平成21年)でした。

子どもがお世話になっている小学校への恩返しのつもりで始めましたが、ボランティアでここまで続けられるのは、多人数指導が経験できること、自分の仕事を生かせること、また子ども達の元気とパワーをもらえることの喜びが大きいからです。

## ■ 現在の活動状況

年間35時間の内、ALTが隔週で来られます。その空いた週に私が担当するという形で、月4回の内の2回を担当します。また、ハロウィンやクリスマスなどはALTと一緒に楽しみの時間を盛り上げます。今年度の活動は水曜日の1校時から4校時までを設定してあります。5年生2クラス、6年生2クラスの4クラスが順に算数教室に移動してきます。

年度初めに、英語担当の先生が決まり(2年ぐらいの周期で変わる)、年間の授業の計画書とALT・JTE勤務配当表をいただき、打ち合わせをします。日頃は英語担当の先生と主にメールでレッスンの内容の確認などの連絡を取り合います。各クラスの先生方とは授業の始まる前のわずかな時間に流れを確認します。授業では、担任の先生が全体的なクラスコントロールと、理解していない児童のフォロー、視聴覚機材の操作、デモンストレーションなどをされます。私は英語で子ども達に語り掛けて、プランにそって進めています。積極的に英語を話さ

れる先生もいらっしゃるの、そんな場合には私がフォローにまわります。

ほとんどの子ども達が興味をもって積極的に参加していますが、表現を苦手とする児童ももちろんいる中で、担任の先生と協力して、なるべくみんなが声を出せるよう、楽しいコミュニケーションがとれるような雰囲気を作るよう努力しています。特にジェスチャーや表情を豊かにすることを心がけて語りかけます。

JTEとしてのやりがいは、子ども達が目を輝かせて反応してくれるときや、わかった！楽しい！などと言ってくれる時に感じます。また、学校以外で、保護者の方々から、「うちの子が英語の授業の話しを楽しんでいます」、「英語が好きになったと言っています」などよく聞きます。保護者の方々からのこのような一言は、大きな励ましとなり、次なる活動へのパワーとなります。小学校に関わるようになって、校長先生、教頭先生、先生方との良い信頼関係が結べていることは一保護者としてうれしいことです。以前は、子どもの授業参観などで後ろからしか見ることができなかった子ども達の表情を、教壇に立ち、前からひとりひとりを見ることができるようになるのは、保護者として授業参観しているときにはできないことで、本当に幸せです！

## ■ 今後の展望、課題、目標

次なる目標としては、小学校英語指導者育成トレーナー資格を目指したいと思っています。それにはまだまだたくさん勉強して、たくさんの経験を積みたいです。現場での経験が大事だと思います。

上級指導者資格をとったという自信が、またこれからの自分の可能性を広げていってくれるという気がします。これから大きく変わろうとしている日本の英語教育の現場に少しでも自分が携わっていける、そんな幸せなことはないという気持です。

みなさんと一緒に活躍していきたいです。

